

神田外語大学大学院 言語科学研究科 日本語学専攻  
過去問題（専門問題）

【問1】全員が解答してください。

グローバル化が進む中で、自国の労働力不足に対処するために外国人労働者を積極的に受け入れている国もあります。そのような場合、外国人労働者に求められる言語能力とはどのようなものでしょうか。また、受け入れ国は、その問題についてどのような対応・努力をすべきでしょうか。職種、受け入れ環境（地域社会、機関）、労働者の母語と受け入れ国の言語との違いなどを考慮に入れて考察しなさい。

【問2】AかBのいずれかを選択してください。

[A 日本語学]

次の日本語の受動文を3種類に分類し、それぞれの統語と意味の特徴について説明しなさい。必要に応じて、自分で例文を加えても良い。

- ・木村さんは先生にレポートをほめられた。
- ・吉田さんは上司に信頼された。
- ・鈴木さんは山本さんに新しく買ったバイクを自慢された。
- ・佐藤さんは社長に名前を呼ばれた。
- ・山田さんは子どもにおもちゃ売り場で大声で泣かれた。
- ・山下さんは職場の仲間に励まされた。

[B 日本語教育学]

外国語あるいは第二言語の「話す・書く」技能の発達において、産出される言語の「正確さ」「流暢さ」「複雑さ」は重要であると広く考えられています。このうち「正確さ」と「複雑さ」は、初～中級レベルの日本語の教室内指導でどのように扱われているのでしょうか。「正確さ」と「複雑さ」それぞれの代表的な定義を述べた上で、それらを向上させるために使われる指導の方法・テクニックの内容と手順を具体的に説明しなさい。